

出前講座（札幌国際大学）実施概要

1. 開催日時：令和8年5月27日
2. 会場：札幌国際大学
3. 講座概要：北海道観光の現状と国の観光振興施策
4. 講座内容：①観光推進の意義 ②データで見る現状 ③今後の観光推進に向けた取組

観光の持つ多面的意義

成長戦略の柱 地域活性化の切り札

人口減少・少子高齢化が進む中、**交流人口・関係人口の拡大は地域の活力の維持・発展に不可欠**。
我が国には、国内外の観光旅行者を魅了する素晴らしい「自然、気候、文化、食」が揃っており、コロナによってもこれらの魅力は失われていない。
観光は今後も成長戦略の柱、地域活性化の切り札。

豊かな国民生活

旅のもたらす感動と満足感、誰もが**豊かな人生を生きるための活力**を生み出す。
観光は学習・社会貢献・地域交流の機会でもあり、観光により地域の魅力を発見し、楽しみ、家族の絆を育むことは、**ワーク・ライフ・バランスの充実**にもつながる。

自らの文化・地域への誇り

観光を通して住民が**自らの地域に誇りと愛着**を感じることは、**活力に満ちた地域社会の持続可能な発展を可能にする**。

国際相互理解の増進

観光を通して**異文化を尊重し**、世界の人々と絆を深めることは、草の根から外交や安全保障を支え、**国際社会の自由、平和、繁栄の基盤を築く国際相互理解を増進する**。

観光立国推進基本計画（第5次）（概要）

- 観光は、**訪日外国人旅行消費額は9.5兆円**（2023年推定）で、その**経済波及効果は約19兆円**に及ぶなど、**地域経済や日本経済の発展をリードする戦略産業**である。また、**国際相互理解の促進など、多面的に重要な意義**を有する。
- 他方、観光を導くに乏しい課題として、**混雑・マナー違反等の個別課題への対応**、**特定の都市・地域への集中偏重**など、**オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策の強化が不可欠**。加えて、**深刻な人材不足への対応**、**観光の高位価値化**、**国内交流の拡大**、**災害や国際情勢等の様々なリスクに対する強靱性の確保**などの課題への対応が不可欠。
- そのため、「**観光の持続的な発展**」、「**消費拡大**」、「**地方誘客促進**」、「**観光と交通・まちづくりとの連携強化**」、「**新技術の活用・本格展開**」を戦略的方針として位置づけ、**地域住民と観光客双方の満足度を高め**、**交流人口・関係人口を拡大**するとともに、「**伝統を「礼」訪れてよし**」に加え、「**働いてよし**」の**観光産業の発展を推進**するための施策を強力に推進。

計画期間：令和8～12年度（2026～2030年度）

施策の柱

- インバウンドの戦略的誘客と住民生活の質の確保との両立**
 - ・ 場所や時期・地域的に異なる混雑・マナー違反等の個別課題への対応（民間関係含む）
 - ・ 地方誘客を進めるとともに、観光客の滞在体験の向上
 - ・ 地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの開発
 - ・ 地方間の交通ネットワークの機能強化
- 国内交流・アウトバウンド拡大**
 - ・ 休暇の分散・旅行需要の平準化
 - ・ 関係人口の創出や二地間居住の促進
 - ・ 国内・海外旅行の振興策に合わせた機運醸成
 - ・ 観光復興に向けた再生支援
- 観光地・観光産業の強靱化**
 - ・ 持続可能性を高めるためのインバウンド市場・観光コンテンツの多様化
 - ・ 観光のデジタル化・省力化投資等による生産性向上
 - ・ 観光地・観光産業の強靱化に向けた機運醸成
 - ・ ユーバーツーリズムなど多様なニーズへの対応

目指す姿 2030年の姿 **戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光**

我が国におけるオーバーツーリズムによる問題

観光客が集中する一部の地域や時間帯においては、**混雑やマナー違反による地域住民の生活への影響や、旅行者の満足度の低下への懸念**といった課題が生じている。

地域において生じている課題の例

- マナー違反**
 - ・ 美しい風景の写真を撮るために、**私有地（私有地）への立ち入り**が多数発生
 - ・ 人気アニメの影響で有名な踏切周辺において、**写真撮影のため多くの観光客が公道に滞留**
 - ・ **無断撮影や、ごみのポイ捨て**が横行
- 混雑**
 - ・ 観光客の車両が集中することで**交通渋滞**が発生
 - ・ 生活道路や農道への**違法駐車**により、生活交通が妨げられている
 - ・ 主要観光地へ向かうバスを中心に、**バスターミナルや車内が混雑**
 - ・ **大型手荷物の持ち込み**で円滑な運行に支障
- 自然環境への影響**
 - ・ 自然体験を求める観光客の増加に伴い、**自然環境の劣化や利用快適度の低下**が発生

「ガイドを利用すること」の魅力・体験価値の発信（令和7年度 北海道運輸局 実証事業）

ガイドを利用した観光・旅行をする人は依然として少ない一方で、ガイドならではの魅力は非常に体験し、楽しみが広がりにくいという課題が顕著に生じている。

そこで、ガイド利用の経験がない人にもその魅力をわかりやすく伝え、ガイド利用を旅行スタイルの選択肢として検討していただくための、「**ガイドを利用することの魅力・体験価値を可視化・発信した動画**」を作成した。

事業概要

- ・ 対象：観光客、地域住民、学生、観光関係者
- ・ 対象地域：札幌市、旭川市、帯広市、苫小牧市、釧路市、網走市、稚内市、紋別市、十勝市、釧路市、帯広市、苫小牧市、釧路市、網走市、稚内市、紋別市、十勝市
- ・ 制作：北海道運輸局、観光協会、観光事業者、観光関係者
- ・ 制作期間：令和7年度
- ・ 制作内容：観光客、地域住民、学生、観光関係者へのインタビュー、ガイド利用の体験談、ガイド利用の魅力・体験価値の可視化・発信した動画の制作

制作動画

- ・ **日本向け動画（日本語）**：日本、インバウンド向け動画（英語）を2本作成。いずれも特定の観光地・ガイドOPRではなく、ガイドを利用することの魅力や伝え方に特化して制作。
- ・ **日本人向け動画（ネイチャーガイド 奥尻島）**：TEAM NAGS 森崎博之氏（出演）
- ・ **インバウンド向け動画①**：「**まちあるきガイド北札幌**」
- ・ **インバウンド向け動画②**：「**ネイチャーガイド大雪山山頂公園**」

⇒ 作成した動画は北海道運輸局YouTubeチャンネルで公開しているほか、**誰でも自由に閲覧**できるよう、**動画配信は動画を一斉に送信**

▶ 動画制作の問い合わせ先：(https://web.mlit.go.jp/hokkaido/0001_00622.html) 59

5. 実施風景



6. 受講者の感想（一部抜粋）

- ・ 観光に関する知識を深く学び、観光が国の発展にとっていかに重要か理解した
- ・ 実際の体験を交えて北海道観光のオーバーツーリズムについて聞いて良かった
- ・ 観光ガイドの必要性について詳しく聞くことがなかったので、勉強になった